

「論文作成」のための特別講座

練習問題 1 8

あなたにとって、幸福を感じるのはどんなことですか？

次に示す条件の内、3つ以上を選んで作文してください。

- A 家計の状況(所得・消費)
- B 就業状況(仕事の有無・安定)
- C 健康状況
- D 自由な時間
- E 充実した余暇
- F 仕事の充実度
- G 精神的なゆとり
- H 趣味、社会貢献などの生きがい
- I 家族関係
- J 友人関係
- K 職場の人間関係
- L 地域コミュニティとの関係

作文は、「幸福の条件」をあなたが選んだ理由と、その幸福を支える条件をどのように実現するのか説明する内容とを入れて、書いてください。

文字数は、400字以上600字以内とします。

「論文作成」のための特別講座 練習問題 18 解説

「作文型小論文」の「未来型」である。

「題意」は、ブータン国王の来日によって、注目されるようになった「幸福度」に対する理解と、自分の人生との関係でとらえることができることを表現することである。(過去を振り返りつつ、未来への希望を書くこと)。

必要な、論文内容は、次のような項目である。展開順は、違っていてもよいが、筋道が通っている必要がある(必ず、段落分けすること)。

第1段 自分が感じる「幸福な場面」の説明

(=「未来の自分」をできるだけ簡潔・明瞭に答える)

第2段 「幸福な場面」をあげた理由

(=「過去・現在の自分や、知っている事実」)

第3段 「幸福な場面」を実現するために必要な条件(題意への回答)

(=「課題」)… 実現したいことと必要な力との間の「距離」。

第4段 「自分の人生」で取り組もうとすること

(=「決意表明」)

第1段の「幸福な場面」の部分には、自分が幸福だと感じる場面(条件)を3つ以上あげなければならない。

ちなみに、日本人の多くは、「健康」「家計」「家族関係」などを幸福を考える際の条件にあげるという調査結果がある。しかし、ブータンでは「お金」でも「健康」でもなく、「人間関係」、「隣人関係」、「家族関係」の平和と交流が幸福の条件のようである。特に、ブータンでは身近な人との関係を大切にし、深い信頼関係を築いているそうである。家族も、友人も、近所の人とも仲良く、いわば地域が一つの家族のように支え合っているという。

第2段の「幸福な場面」を考えるようになったいきさつには、自分の体験や書物やドラマなどで知った事実など、過去のいきさつなどを書く。この段落に多くのスペースを割くべきではないだろう。むしろ大切なのは、第3段落の「実現方法」の内容である。

第3段の「課題」では、幸福を支えている条件をあげて、その条件を獲得したり維持するための取り組み・実現方法に迫るための自分の目標を説明する。

たとえば、自分が将来、手に入れた「職業」や「資格」に就くための道のりを書く必要がある。たとえば、「〇〇になって(の資格を取って)、◎◎をすることで社会に貢献したいのが将来の希望である」などのように、自分

の将来に対しての具体的な、「夢(◎◎の部分)」と「目標(○○の部分)＝課題」の両方を書くべきである。最低限、どちらか一方は必ず書かなければならない。これがなければ、頑張りようがないからである。

なお、ここでは自分の家族への感謝は説得力がない。自分の家族も社会の支えで成り立っているからである。自分の家族だけに目を向けていると「自分勝手」が拡大しているだけである。仕事を通して社会参加することや社会に貢献することを考えることが大切である。

第4段「決意表明」では、第3段の「課題」を達成するために、自分が活動したいことをできるだけ具体的に説明すること。

なお、第1段から第3段までの内容と、第4段が密接につながっている必要があることを忘れてはならない。特に、第3段と第4段が矛盾することは致命的で、「0点」の評価となるであろう。

※ 採点基準

個人の「幸福感」そのものを採点することはできない。したがって、何を幸福と感じるかなどの内容そのものを採点対象にはしない。

しかし、「課題設定力」と「表現力」及び「論理力」は、採点対象とすることができる。この問題の採点基準としては、次のような事柄が考えることができる。(10点満点として考えると次のような配点になる)

- ① 幸福の条件を3つ以上あげている。(2点)
- ② 幸福の条件を選択した理由を説明している。(2点)
- ③ ②をふまえて、①の実現方法を説明している。(2点)

以上の①～③を書いていることと、指定された文字数で作文していることが最低条件である。

次に、加点対象として、

- ④ 実現方法に具体性がある。(1点)
- ⑤ キーワードを効果的に使用して、説明している。(1点)
- ⑥ 「生きる」ために必要な方法を考えている。(1点)
- ⑦ 選択した条件の優先順位を明確にしている。(1点)

これら以外に、論理矛盾は、減点対象とされるので要注意である。